

校長室だより第 45 号（令和 8 年 2 月 24 日）

2 月 16～18 日に 5 年生は移動教室に行ってきました。場所は、長柄町にある千葉市少年自然の家です。多少小雨がぱらつくことはありましたが、予定していた行事をすべて行うことができました。

5 年生が入学したのは新型コロナウイルスが猛威を振るっていたころです。そのため、幼稚園等で行っている『お泊り会』も中止となりました。つまり、この移動教室が人生で初めて親元を離れて宿泊するという子がいたようです。だからなのか、わくわくしている子もいれば、緊張気味の子もいるようでした。

荷物も人それぞれ。中には、海外旅行に行くの？と思われるくらい大きなスーツケースで登校した子も何人かいました。

出発式を終え、クラスごとにバスに乗り込みました。おしゃべりをしたり、レクをしたりしているうちにあっという間に目的地に到着しました。

最初の大きな行事は『施設内オリエンテーリング』です。活動班に分かれて、施設内を散策します。オリエンテーリングをしながら、どこに何があるのかを子どもたちに知ってもらうための行事です。

子どもたちは、地図と問題用紙をもって思い思いに出発します。教師も子どもたちの安全を見守るために所定の場所に移動します。私はフリーという立場で自由に動き回りました。最初に、出発地点から最も遠い場所にある「田んぼゾーン」に足を運びました。私が子どもなら真っ先にそこに行くなと思ったからです。だって、初めての場所なのだから、一番遠くに行ってみたいじゃないですか。

しかし、30 分待っても子どもたちはやってきません。どうしたんだろう。どこにいるのだろう。さすがにしびれを切らした私は、スタート地点付近にもどり、「田んぼゾーン」に行くように声を掛けました。「初めての場所なのだから、一番遠くに行ってみたい。」という私の感覚と同じになる必要はないのですが、移動教室に来たのだから、もっと積極的になれば

いいのにと思いました。

昼食は少し寒かったのですが、芝生広場で生活班ごとに食べました。「校長先生、一緒に食べましょう。」と声を掛けてもらい、子どもたちと昼食を取りました。優しい子どもたち。

ありがとう。

つづく